病態診断学A
(Clinical Diagnostics A)

担当教員	
准教授	小原 幸
助教	鳥羽 裕恵

科目群	開講期	授業形態	単位数	必修等
薬学専門教育（講義）	3年次 後期	講義	1.5単位	必修

【概要】

疾患の症状や治療方法について学んだ後、逆にその症候・病態から疾患名を考える手法を学ぶのが「診断学」である。鑑別診断のためには様々な検査についても学ぶと共に、薬物治療に対する反応から診断につながることもある。病態診断学Ａでは、バイタルサインや症状、臨床検査値、代表的な画像診断及び今後、薬剤師にも求められているフィジカルアセスメントの基礎を学ぶ。
この授業は対面授業と中継講義で構成する。学生の皆さんには対面授業を７回、中継講義を７回受講して頂く。

【授業の一般目標】

代表的な循環器、呼吸器、生殖器、皮膚疾患及びアレルギー・自己免疫疾患、臓器移植について学ぶと共に、自他覚症状、バイタルサインや臨床検査値等から疾患名を類推する手法について学ぶ。

［関連する卒業認定・学位授与方針］DP1・DP2・DP4

【準備学習(予習・復習)】

予習：シラバスに従い、講義予定の領域の代表的疾患についてテキストや参考書などに目を通しておくことが望ましい。
復習：講義資料並びに参考書を活用し復習を行い、症例課題への取り組みを行うことで知識の活用法を確認することが望ましい。
予習復習合わせて１週あたり90分程度の学習が必要である。この領域の学習に、一夜漬けの知識は通用しないことを十分認識して予習復習を行うこと。

【学習項目・学生の到達目標と、対応するSBOコード】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標	SBOコード
1	バイタルサイン	小原	バイタルサインおよびフィジカルアセスメントの検査項目を列挙し、目的と異常所見を説明できる。	E1-(2)-①-1 E1-(2)-②-1 E1-(2)-②-3 E1-(2)-②-6 E1-(2)-②-8
2	呼吸器疾患（１）	鳥羽	以下の呼吸器感染症について、病態、感染経路と予防方法および薬物治療を説明できる。上気道炎（かぜ症候群を含む）、気管支炎、細菌性肺炎、肺結核、レジオネラ感染症、マイコプラズマ肺炎 間質性肺炎について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。	E2-(7)-③-1 E2-(4)-①-3
3	呼吸器疾患（２）	鳥羽	気管支喘息と慢性閉塞性肺疾患について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。	E2-(4)-①-1,2,4
4	皮膚疾患	小原	以下のアレルギー疾患について説明できる。アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、接触性皮膚炎、Stevens-Johnson症候群、中毒性表皮壊死症、薬剤性過敏症症候群、薬疹 皮膚の疾患に用いられる代表的な薬物の基本構造と薬効を概説できる。	E2-(2)-②-3,4,6 E2-(6)-③-1,4 E2-(6)-④-1
5	アレルギー・免疫疾患（１）	小原	アナフィラキシーショックについて、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。	E2-(2)-②-5
6	アレルギー・免疫疾患（２）	小原	以下の全身性自己免疫疾患について説明できる。全身性エリテマトーデス、強皮症、多発筋炎／皮膚筋炎、関節リウマチ	E2-(2)-②-8 E2-(2)-③-1
7	心・血管疾患（１）	鳥羽	以下の高血圧症について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。本態性高血圧症、二次性高血圧症（腎性高血圧症、腎	E2-(3)-①-4 E2-(5)-②-5

			血管性高血圧症、クッシング症候群、アルドステロン症、褐色細胞腫)	
8	心・血管疾患（２）	鳥羽	動脈硬化の危険因子と動脈硬化性疾患における薬物治療、食事療法、その他の非薬物治療（外科手術など）の位置づけを説明できる。 閉塞性動脈硬化症（ASO）について概説できる。	E1-(3)-1 E2-(3)-①-5
9	心・血管疾患（３）	小原	虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）治療薬の薬理及び病態・薬物治療について説明できる。	E1-(3)-1,2 E2-(3)-①-3
10	心・血管疾患（４）	小原	急性および慢性心不全、心原性ショック、先天性心疾患の病態を概説し、薬物治療及び治療薬の薬理について説明できる。	E1-(3)-1,2 E2-(3)-①-2,5
11	心・血管疾患（5）	小原	代表的な不整脈および関連疾患について、治療薬の薬理、および病態・薬物治療を説明できる。	E1-(3)-1,2 E2-(3)-①-1
12	生殖器疾患	小原	以下の生殖器系疾患、生殖器の悪性腫瘍について説明できる。前立腺肥大症、子宮内膜症、子宮筋腫、異常妊娠、異常分娩、不妊症、子宮癌	E2-(3)-③-6,7,8 E2-(7)-⑧-11
13	移植医療（１）	小原	臓器移植（腎臓、肝臓）について、拒絶反応および移植片対宿主病（GVHD）の病態・薬物治療を説明できる。	E2-(2)-②-9 E2-(8)-③-2
14	移植医療（２）	小原	臍帯血、末梢血および骨髄に由来する血液幹細胞を用いた移植医療について説明できる。 摘出および培養組織を用いた移植医療について説明できる。 iPS細胞を用いた臓器移植について説明できる。	E2-(2)-②-9 E2-(8)-③-2,3,4
15	総括・まとめ			

【実務経験】

小原　幸　　業種:医師

学習項目No.	その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。
1,4-6,9-14	病院勤務で経験してきた症例や、医師としてチーム医療に参加してきた経験を交えて講義を行う。

鳥羽裕恵　　業種:薬局薬剤師

学習項目No.	その経験を生かして、どのような教育を行なうのか。
2,3,7,8	病態や検査薬・治療薬の知識を教育するだけでなく、薬剤師として患者さんを前にした際にそれらの知識をどのように活用するかを伝え、また、受講生自身が将来の姿を思い描きながら考察できるような教育を行う。

（書名）　　（著者・編者）　　（発行所）

教科書　当日の講義資料を配布する

【成績評価方法・基準】

定期試験(100%)の成績を基準に判定する。

【評価のフィードバック】

合格発表日以降に manaba の科目コースに成績講評を掲示する。